

石川社保協ニュース

2020年6月1日

920-0848 金沢市京町24-14

TEL076-253-1636 F076-253-1459

メール: kaigo@imir.jp

http://www.imir.jp/syahokyo/index.htm

新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度年収を確保し、安全・安心の医療・介護を存続していくために公的資金の導入を求める署名

現在、団体署名101事業所と18団体

国の二次補正に一般医療機関・介護事業所への支援策はなし

安倍政権が27日に閣議決定した第2次補正予算案に、医療支援の強化、事業者への家賃支援、雇用調整助成金の上限額の引き上げなどが盛り込まれたのは、前進面で、国民の声が政治を動かした結果です。しかし、新型コロナ患者を受入れていない医療機関でも受診控えなどで大幅な減収を問題にしていますが、そうした医療機関や介護事業所には、国による支援策はありません

新型コロナ問題を通して、私たちは医療機関や介護事業所の経営が安定し、そこで働く医療従事者や介護従事者が安心して働くことができなければ、私たちの生活の基盤が脅かされ、新型コロナウイルスの第二派、第三派に備えることができないことを学びました。従って医療機関・介護事業所が事業を継続して、安全・安心の医療介護を継続していくためには、新たな公的資金の導入が不可欠となっています。

署名200（残81）集めて国会に提出しましょう！！
来週、事務局の寺越・嵯峨が官邸に届けます。

皆さん、新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度年収を確保し、安全・安心の医療・介護を存続していくために公的資金の導入を求める団体署名にご協力ください。知り合いの医療機関・介護事業所に、そして諸団体に声をかけて署名を集めてください。署名は以下まで6月5日までに届けてください。



届け先：〒920-0848 金沢市京町24-14 石川県社会保障推進協議会

☎076-253-1636 Fax076-253-1459

県内の全ての議会に「安全・安心の医療・介護のための意見を国に提出する事を求める陳情書提出！！



5月27日、県内全ての市・町議会に、新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度年収を確保し、安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める意見を国に提出することを求める請願書・陳情書を届けました。議会で採択されるよう、議会への働きかけを宜しくお願ひします。